

声 明 書

我が国にとってエネルギーは国民生活や経済活動を支える基盤であり、低廉なエネルギーの安定的な供給なくして、快適な生活や経済の持続的発展を維持することはできません。

当会は、三重県民のみなさまがエネルギーや環境問題について、周囲を海に囲まれ、化石資源に恵まれず、エネルギー資源のほとんどを海外に依存し、自然エネルギーを活用する条件も諸外国と異なるなど我が国が抱えるエネルギー供給の脆弱性の現状を踏まえて、冷静な視点で、かつ、自らの問題として捉え、考え、行動していただくことを訴え続けております。

そのうえで、我が国の持続的発展や私たちの安心・快適・豊かな生活の維持に向け、「環境との調和を図ったエネルギーの確保」などにより脱炭素社会を実現することの重要性を講演会や見学会などの啓発活動を通じて訴えるとともに、三重県民のみなさまとエネルギーや環境問題について、自由に議論できるサロンやフォーラム等を実施するなどコミュニケーションを大切にしながら理解を深めていただけるよう事業活動を展開しております。

ロシアによるウクライナ侵攻は、いまだ終結する兆しが見えず、世界のエネルギー供給体制に大きな影響を与え、原油の高騰と世界的な限りのあるエネルギー資源をめぐる獲得競争の影響を受ける我が国は、エネルギー安全保障を考える上で大変厳しい環境にあります。このためエネルギーの安定確保と2050年カーボンニュートラルを達成するには、国のエネルギー政策の基本方針である、安全性を前提として、「安定的に」「経済的に」「環境に優しく」のS+3Eの視点を踏まえ、原子力発電については、安全を確保したうえで早期再稼働を進めるとともに、多様なエネルギーをその特性を活かして組み合わせる「最適なエネルギーミックス」を実現することが重要であると考えております。

当会は、脱炭素社会の実現に向けて、発電時に二酸化炭素を排出しない原子力発電の活用や再生可能エネルギーの主力電源化、高レベル放射性廃棄物の最終処分などの課題について、会員のみなさま方とともに講演会や見学会およびメディアなどを通して、情報発信していく活動を一層推進してまいります。

これらを踏まえた脱炭素社会の早期実現に向け、経済産業省中部経済産業局、三重県、三重県議会ならびに県内市町と市町議会、経済界を始めとする関係諸団体との連携を図るとともに次の事項について、要望いたします。

要 望 事 項

三重県、三重県議会

- 1 エネルギーや環境問題への理解に資する情報発信と諸施策の推進
- 2 省エネルギー推進や節電の促進に向けた県民的活動の展開と環境整備
- 3 次世代層に対するエネルギーや環境教育の積極的な推進
- 4 脱炭素社会の実現や地球温暖化問題の解決に向けた諸施策の積極的な推進

経済産業省 中部経済産業局

- 1 我が国の持続的発展につながるエネルギー施策への理解活動の推進
- 2 安全性、安定供給、経済性、環境適合性を確保したエネルギーミックスの実現に向けた諸施策の確実な実施
- 3 脱炭素社会の実現や地球温暖化問題の解決に向けた諸施策の積極的な推進

以上、声明いたします。

令和5年6月7日

21世紀のエネルギーを考える会・みえ